

# 東京科学大学病院 広域連携型プログラム

広域連携通信  
vol.5

Institute of  
SCIENCE TOKYO  
HOSPITAL

協力病院ピックアップ

## JA とりで総合医療センター

### ここがポイント！

✓ 多様な症例と豊富な手技を経験！バランスの取れた研修環境で救急対応がしっかり身につく！

茨城県の最南部に位置する JA とりで総合医療センターは、年間 4,500～5,000 台の救急車を受け入れる地域の急性期基幹病院です。研修医の活躍する機会が多く、common disease の primary care に加えて、Walk-in から CPA まで幅広い初期対応を経験することができます。

✓ 良好な立地と充実した処遇。自由度の高い研修環境で、専門研修へのステップアップもスムーズ！

東京に近く、給与水準も高いため、遠方に行くのが少し心配という方も安心して研修に専念できる環境が整っています。東京科学大学とのつながりが深く、教育熱心な指導医が多いことも大きな特徴で、専門研修にスムーズに繋げることができます。学会発表や勉強会も盛んで、研修医の学習意欲を後押しします。

### JA とりで総合医療センターで研修した 研修医の先生方にお話を伺いました！

#### 研修環境について



病院独自の研修プログラムの 1 年目・2 年目研修医がそれぞれ 5 人、さらに科学大や筑波大からのたすきがけ研修医もいて、合計で 20 人ほどの研修医がいます。研修医室には一人ひとりの机があり、ソファで休憩していても上級医の視線が気にならない雰囲気です(笑)。休日は研修医同士で遊びや飲みに出かけることもあり、和やかな環境です。



茨城県の病院ですが、東京へのアクセスが良く、気軽に東京に行くことができます。取手駅から東京までは常磐線快速で約 40 分程度です。車がなくても生活できるのがありがたく、自転車があれば日常生活に不便はありません。給与は協力病院の中でも高く、ボーナスや家賃補助もあり、少し広い部屋を借りて余裕を持った生活ができる点も魅力です。



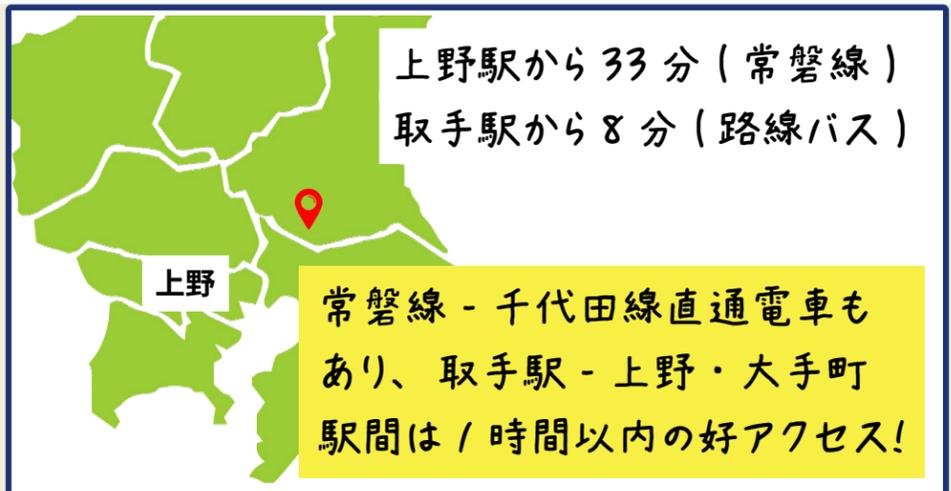
ローテーションの自由度が高く、私の時は 1 か月前でも希望を反映してもらえ、とても助かりました。また、病院の食堂で美味しいお弁当が 320 円で購入できるのも嬉しいポイントです。



文献検索は東京科学大学病院のアカウントを継続して利用できるため、大学勤務と同じ条件で、自分のペースで学習を進められるのがありがたかったです。



コメディカルスタッフはとても親切で、距離も近く雰囲気が良いのが特徴です。当直明けはきちんと帰宅でき、仕事量も無理のない範囲です。



#### 病院の特徴・指導体制



茨城県最南部の中核病院で、救急科ローテーションでは、救急車・ウォークインともにファーストタッチは研修医が担当し、検査のオーダーも一定の範囲で研修医の判断に任されています。もちろん最終判断は上級医が確認するため、安心して診療に臨めます。基本は二次救急ですが、時には CPA 対応や病棟対応が重なる忙しい日もあります。幅広く充実した経験を積むことができました。



循環器内科での研修が特におすすめです。血液内科や膠原病内科も揃っており、内科志望の方には非常に学びやすい環境です。外科系では心臓血管外科と呼吸器外科はありませんが、一般外科と整形外科はあり、多くの研修医にとって問題なく研修ができると思います。精神科は院外研修になりますが、距離が近いので不便はありませんでした。



経験できることの幅が広く、自由度も高いので、様々な進路を考えている方におすすめの協力病院です。また病院長が東京科学大学のご出身で、各診療科にも同大学の医局からの派遣が多く、医局とのつながりが深いので、入局を考えている方にとっては 3 年目以降のキャリアにスムーズにつなげやすい環境です。指導医の先生方のレベルがとても高い一方で、病院全体の雰囲気として近い距離感で指導を受けることができ、安心して研修を行うことができました。

Institute of  
SCIENCE TOKYO  
HOSPITAL

総合教育研修センター ホームページはこちら

